

# 商 松 PTA通信

第 59 号  
令和 4 年 3 月 1 日発行

「卒業おめでとう」になります

PTA会長 辻 未輝



一九七名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。そして、保護者、ご家族の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとございます。

皆さん、松阪商業高校の3年間は、どうでしたか。充実した高校生活を送ることができましたか。親目線で言えば、この前入學したと思っていた皆さんが、卒業という節目を迎えたということ、本当に早かったなど、あつという間の3年間だ

つたと感じております。さまざまな経験をした3年間だったと思いますが、特に最終学年までの2年間は、新型コロナウイルスの感染拡大により、予想だにしない世の中になってしまいました。その間、学校生活はもちろん、運動部、文化部の活動自粛、各主大会の中止などで、本来は松商の代表として華々しい活躍をし、希望の日々を送るはずだったが、誰にもどこにもぶつけることができない感情だけが募る日々に、苦しい思いや悔しい思いをしたのではないかと思うと心が痛みました。ただ、今、振り返れば、そんな前例のない手探りの中で、新しい取り組みや、創意工夫した活動を実践し自らの手で前例を作り出したことは、皆さんの今後の人生に必ずプラスになるとだと思っております。また、当たり前前の生活や当たり前前の出来事が、実は当たり前前ではないということに気づいたこと、当たり前前に流れる日々の生活に感謝すること、そんな思いを改めて感じた時期でもあったのではないかと思います。そんな経験をした皆さんは、新しいことにチャレンジした自信と当たり前前することに感謝できる心が備わり、大きく成長で

きたと思います。そんな高校3年間の経験を土台として、新たなステージで光り輝くために、こんな時代だからこそ、夢を決意に変えて、強さと優しさを持つて、自分の未来に突き進んでください。強さや優しさは一人では育てられません。そこには相手があります。誰かがいいます。「相手がいる」「誰かがいる」ということは、そこに出会いがあるのです。人を大きく変える出会い、それを「縁」と呼びます。「縁」は人だけに限りません。天職だと思える仕事にめぐり逢うのも「縁」、一生かけてやり遂げたいと思えるライフワークに出会うのも「縁」、そしてもちろん生涯の友とめぐり逢うのも「縁」なのです。皆さんに訪れるいくつもの「縁」を大切に育んで下さい。すべては自分次第ですが、私たち保護者はいつも皆さんの味方です。どんな時も決して一人ではないという事を忘れないでください。

最後に、これまでご指導いただいた松阪商業高等学校教職員の皆様、3年間ご指導ありがとうございました。特に3年生学年団の先生方、部活動の先生方、子供達一人ひとりの進路のサポートやアドバイスを賜りました。こんなにたくましく成長できたのも先生方のご指導のおかげです。3年生の保護者の代表として心より感謝と御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

卒業生の前途を祝し、お祝いの言葉と御礼の言葉といたします。

## 卒業生に向けて

学校長 川瀬 幸史



PTA会員の皆様には、日ごろから本校の教育活動に対しまして様々な面においてご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、これまでの間、陰となり日向となりお子様の成長を支えてこられました第3学年保護者の皆様におかれまして

は、お子様が大きな成長を遂げられ、めでたく卒業の日を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、今から約3年前の入学式の折には皆さんの高校生活が新型コロナウイルス感染症によって以前とは全くと言っていいほど変容するなどは誰も予測できなかったことだと思えます。令和二年三月の全国一斉臨時休校以来学校のあらゆる計画は大きく見直しを続けていかざるを得なくなりました。皆さんは新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に合わせて自宅学習や分散登校・オンライン授業などの方法で授業を受けたり、様々な学校行事・検定・部活動等の中止や延期、また変更や規模縮小の中で高校生活を過ごしたりしてきました。そのような状況の中でも皆さんは頑張つて、各授業の単位の取得や検定試験の合格、部活動の入賞などの実績を出すことができました。また、修学旅行も幾度もの計画変更をしたものの、一人ひとりが感染予防対策を講じて臨機応変に対処することで実施することができました。体育祭や文化祭においては皆さんが知恵を出し合つて、生徒会役員を中心に新たな形態や内容を考え出し、こ

れまでのような盛り上がりの中で大成功を収めることが出来ました。部活動では残念ながら代替大会となつてしまったものもありましたが、その大会においても日々の練習の成果を發揮し、好結果を生み出してきました。

このように皆さんの高校三年間の状況を振り返ってみると、いろいろな制限や制約はあつたものの、一人ひとりが前向きに取り組んだ結果として、新型コロナウイルス感染症拡大以前と何らの遜色もない活動実績を残してきたとも言えます。それどころか、このような状況の中においても様々な対応を講じながらここまで出来たということは胸を張つて誇れるものだと思います。過去と比較して出来なかったことを教えるのではなく、新たにチャレンジしたことや新しいアイデアを加えていったことを積み重ねていきましょう。この三年間の経験は皆さんの四月からの進路においても大きな財産となることでしょう。これからも常にプラス思考で前向きに臨んでいってくださることを期待しています。最後になりましたが、保護者の皆様方のご理解とご協力のもと、一年延期した創立百周年記念式典・記念事業も今年度の実施

でき、校門・エントランスがリニューアルできましたことに対して、改めてこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。今後とも松阪商業高等学校の発展のため、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 「1」の1年をふりかえって

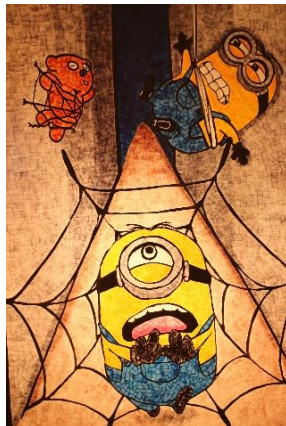
生徒会担当 田邊 典郎

令和三年度の生徒会行事は、昨年からのコロナ禍で開催が危ぶまれたものの、『なんとか』実施にこぎつけることができた。これは偏に生徒達の熱意の賜物である。感謝したい。

ただ、この『なんとか』が問題である。コロナ禍により失つた(縮小した)行事がたくさんある。新入生の対面式、クラブ紹介、壮行会、WJW松商、野球応援、体育祭種目、文化祭などだ。生徒と教員は数年で入れ替わるから、この2年間で常態化することを恐れる。巷で囁かれている「コロナに託つて・・・」を危惧する。さて、令和四年度はどのように様変わりするのか注視し

たい。

松商伝統行事ぼんぼり大会 ぼんぼり大賞作品





## 情報ビジネス科

「生生流転く刻々と変わる  
時代に合わせてく」

代表 日比 一海

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

松阪商業高校は令和二年度に百年を迎えました。しかし、新型コロナウイルスにより百周年記念式典が延期され、令和三年度十一月十九日に行われました。百周年の歴史の重みと時代を先駆けて活躍された先人たちの活躍をVTRで見ただけの喜びと責任を感じた記念式典でした。

さて、令和三年度は、社会情勢の変化への対応と新たな教育への対応を求められる一年間となりました。昨年度から続く新型コロナウイルス感染症は収束の見通しが立たず、九月からの一か月間はオンラインによる自宅学習となりました。通常の学習活動においても、商業教育に係わる行事が制限されました。そのような状

況下でも、生徒たちは商業科の先生方の熱心な指導の下、学習活動に励みました。資格取得では、公的資格、全商検定とも数多く合格することができました。また、高専連携や事業者による講義など外部教育力を積極的に活用し、生徒たちが商業で学んだ知識を将来活かせるよう取り組みました。

「Society 5.0」といわれる新たな時代の到来を迎え、先進技術の活用が求められる社会になりつつあります。一方で、松阪地域は人口減少がさらに加速し、地域の衰退化が危ぶまれています。激動する社会情勢の中、松阪商業高校は令和4年度から総合ビジネス科と国際ビジネス科の商業2学科に改編します。

今後とも、生徒に寄り添い、生徒の進路希望実現を目指す教育を展開するとともに、地域社会の変化に適応できる人材を輩出していきます。何卒ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



## 情報システム科

「情報システム科の教育活動」

代表 松月 大

令和三年度の情報システム科の教育活動は、新型コロナウイルス感染症による影響を受けつつも、生徒たちそれぞれしっかり頑張ることができたと思えます。

資格取得の面では、国家試験である応用情報技術者試験に1名が合格しました。IT企業に勤める社会人でも合格は難しいと言われる難関試験でしたが、見事合格しました。基本情報技術者試験9名、情報セキュリティマネジメント試験2名、ITパスポート試験7名の合格もあり、近年にない好成绩を残すことができました。コロナ禍の中、学習を進めることは本当に難しかったですが、集中を切らさず見事合格を勝ち取りました。

資格取得だけでなく進路の面でも自身の将来を見据え、進路実現に向けて懸命に努力する姿が見られました。私の所へもシステム科の生徒から本当にた

くさんの面接指導の依頼があり、嬉しい悲鳴を上げていました。

また一・二年生生徒対象に、令和三年十二月十七日に情報システム科講演会を開催しました。名古屋のIT企業の事業部長さんからITエンジニアのことや社会人としての心得などをお話しいただきました。来年度または再来年度の進路選択に向けて、少しでも感じ取ってもらえることがあれば良いと企画しましたが、生徒達からのアンケート回収率、記述量ともに高く、ご講演いただいた事を今後の自分自身に生かしたいという感想が本当に多かったです。有意義な講演会となりました。

来年度から学科改編となり、令和4年度新入生から「情報システム科」の名称はなくなりませんが、引き続き本校では生徒の進路実現を見据え、一人ひとりの個性に応じた真摯で温かみのある教育活動を展開していきます。今後とも何卒よろしくお願いいたします。





## 国際教養科

### 「二〇二二年度の交流活動」

代表 齋藤 有希子

本校の国際教養科は、国際人として活躍できる資質・能力を身につけ、将来、国際社会で活躍できるような人材の育成をめざし、昭和六十二年四月に設置された学科です。

国際教養科の授業では、英語での会話ペアワーク、グループワークやプレゼンテーション等のアウトプットの活動を多く取り入れています。さらに、県内全域から「外国語指導助手」を招いて行う「英語

キャンプ」や近隣の小学生に英語を教える「小学校での英語活動」を行っています。国際教養科の生徒は、こうした活動を通して、英語の力を身に付けていきます。

今年度は、昨年度と同様、コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、計画や内容を変更し、さらにマスク着用や手指消毒等を徹底して授業や交流活動を実施しました。そのような中でも生徒はみな、積極的に授業に取り組んでいました。また、例年の活動から変更してよかった点もいくつかありました。

まずは、スマートフォンやタブレットといった情報端末を利用したオンライン授業ですが、マンツーマン形式で行い、これによって、生徒一人ひとりが普段以上に英語を話す機会を持つことができました。

2つ目は「小学校での英語活動」です。例年は対面で実施してきましたが、今年度はオンラインで実施しました。生徒はグループで協力しながら、小学生にも分かりやすく、楽しく英語を学べるような授業を計画しました。当日は、パワーポイントのスライドを見せ、世界の学校の制服や日本との給食の違い等を紹介した後、英語でクイズを出題し答えてもらうなどして、小

学生と交流しました。

3つ目は、「英語キャンプ」です。これまで英語キャンプは夏休み中の行事でしたが、昨年度と同様に十二月に実施しました。また、英語キャンプでの上演に向けて、数ヶ月をかけて準備する英語劇は、E1との短時間で制作する即興劇に変えました。即興、しかも英語で劇を創作し、演じることに戸惑った生徒もいましたが、E1とコミユニケーションを取る機会が増えたことで、生徒たちはこれまで以上に英語に自信が持てるようになったようです。

これらの活動は、保護者の皆様や地域の方々、関係する先生方の活動へのご理解とご協力により実施することができました。今後も、国際教養科の活動にご理解と協力をよろしくお願いいたします。

## 運動部

### 硬式野球部

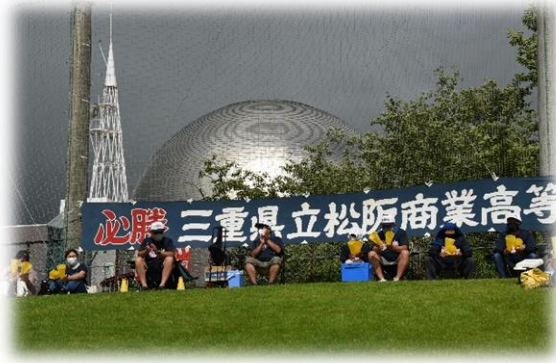
3年生を中心としたチームは、コロナ禍の影響が一番受けた学年だったのではないでしょうか。それにも関わらず、自

主練習などを継続して行なうなど、戦う毎にチームとして成長していき、秋県準優勝と東海大会出場、春県ベスト4と素晴らしい実績を残し、三重県の21世紀杯推薦校に選出されました。また、念願の夏のシード権を獲得しました。選手権大会では優勝した三重高校に惜しくも敗れてしまいましたが、百周年を迎えた伝統ある「松阪商業」のユニフォームで堂々とした姿勢で最後まで戦ってくれました。

練習試合や公式戦も無観客など当たり前前のごが困難になるなかで、保護者の皆様には日ごろから、最後の最後まで物心両面でご支援していただきました。誠に感謝いたします。卒業生は保護者の方をはじめとした様々な方への感謝の思いや、三年間グラウンドでやり切ったという自信を胸に、後悔したことも含めて、それぞれの次のステージで活躍を期待しています。

現在は2年生11名、1年生15名で活動し、3年生の想いを受け継ぎ、『5度目の甲子園』を目標に心技体の成長を目指して日々の練習に励んでいます。秋は県大会初戦で敗戦しましたが、先輩達には

負けられない、このままでは終われないと、春には大きく成長した姿を見せるために、厳しい練習にも耐え忍んでいるところです。まだまだ未熟な弊部ですが、今後ともあたたかな応援をよろしくお願ひします。



## ソフトボール部

ソフトボール部は、現在2年生2人、1年生3人(内マネージャー1人)で活動しています。多数の生徒が高校からソフトボールを始め、投げる、捕る、打つことはもちろん、ルールもわからない状態から始ま

りましたが、日々努力を続け、選手として大いに成長をしております。

現在は、単独チームとしての活動が難しい状況で、他校の選手と共に練習や試合に参加しております。そういった環境の中で生徒たちは、異なる地域の生徒や技術の高い生徒と共に活動することによって、選手としても一人の人間としても実に多くを学び、日々成長を続けております。限られた環境の中においてベストを尽くしながら、ソフトボールを楽しんでおります。



## バドミントン部

松商バドミントン部は、女子2年生6名・1年生8名の14名で日々練習に励んでいます。試合での完全燃焼を目指し、日々の基礎練習やトレーニングを大切にしながら、練習試合など実践形式の練習にも取り組んできました。2年生は着実に力を付けており、1年生も日々成長しています。秋季大会では団体ベスト16で敗退しましたが「明るく元気に一生懸命」なチー

ムを目指し、今まで以上に練習に励んでいきたいと思えます。

また、競技のみならず「普段の生活での礼儀やマナー」・「感謝の気持ちを持つこと」・「一生懸命頑張ることの本当の楽しさ」をクラブ活動を通して学んでいって欲しいと思っています。

3年生のみなさん卒業おめでとう。8人でバドミントン部を支え引つ張ってくれました。3年間、何度も何度も悔しい涙を流しました。そして、三月に服部先生が転勤をされて、チームの指揮をとってもらったことが出来ませんでした。約2年間服部先生から学んだ事を自分なりに精一杯体現してくれました。最後の大会は接戦の末敗れましたが、最後まで諦めない姿にみんなの「成長」を感じました。常に明るく楽しく真剣にバドミントンをすることが3年生の強みで、最後の最後までその姿を見ることができ、私はうれしかったです。大会が無くなり、練習の自粛、様々なイレギュラーがありました。それでもめげずに常に前向きにいてくれてありがとう。そして最後まで私を信じてついてきてくれてありがとう。最後まで諦めずに、みんなで全力で頑張った日々が自分達の「人

生の礎」になると信じています。どんな時も自分達を温かく見守り、背中を押してくれた家族の皆様への感謝の気持ちを決して忘れずに、生きていってください。自分達が「松商バドミントン部」としての誇りを一層持てるよう我々顧問も日々精進していきます。「夢と希望」を持たせてくれた3年間をありがとう。



## バスケットボール部

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。この3年間、楽しいことばかりではなく、辛いことや悲しいこともあったと思います。将来、それら全ての思い出を「いい思い出になった」と振り返れることを願っています。

バスケットボール部では、男女それぞれ目標達成に向け、日々練習に励んでいます。厳しい練習をしていく中で、時には涙が溢れたり、チームメイトとぶつかったりして、気持ちが折れそうになるときもありました。それらを乗り越えて大会で勝利し



たときの喜びは格別で、何事にも代えがたい大切な思い出となりました。

人生でも同じです。「嫌なことから逃げずに最後まで頑張る」ことで見えてくるものが必ずあります。社会人になれば、より強く実感することでしょう。時間があれば後輩たちにそのことを伝えるに来てください。これからの皆さんの活躍を期待しています。



## ソフトテニス部

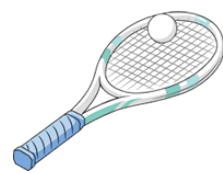
卒業生である4名が引退した今、2年生5名・1年生6名の11名で、新チームとして先輩から引き継いだ「チームが一つになれば奇跡は起きる」のスローガンを、今一度胸を張って言えるよう、ベスト8、東海大会団体出場に向けて日々練習に励んでいます。

昨年度同様に今年度も感染症により制限のある状況下での活動ではありましたが、そのような中でもテニスができることに改めて幸せなことだと感じることがで

きました。このように活動が続けられるのも、保護者の皆様のご理解とご協力があるからこそと、顧問一同心から感謝しております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

顧問同様まだまだ未熟なクラブではありますが、松阪商業ソフトテニス部の伝統を守り、日々精進してまいりますので、これからもどうかよろしく  
お願い致します。

## バレーボール部



現在2年生3人、1年生9人という少ない人数で練習に励んでいます。高校からバレーボールを始めた生徒もいます。チームの雰囲気は明るく、全員が少しでも上手くなれるよう日々努力を続け、選手として大いに成長をしております。

気持ちの良い挨拶、前向きな気持ち、感謝の気持ちを大切に、バレーボールができることに喜びを感じて、これからも頑張つて参りますので応援宜しくお願いします。3年生の皆さん、ご卒業おめでとうござ

います。松阪商業で学んだことを生かし、自分の道を行って下さい。ご活躍を心よりお祈り致します。

## 卓球部



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして、卓球部の3年生の皆さん、卒業おめでとう。

皆さんは僕が監督としてベンチに入つた初めての生徒です。初めて出会った4月から今日までのこと、本当によく覚えていきます。

7人それぞれが人懐っこく個性豊かな性格でしたが、全員に共通していたのは負けず嫌いなところでした。普段はあんなに明るく元気に取り組んでいるのに、ゲーム練習となると途端にピリピリとした雰囲気になります。誰が相手でも負けたくない、その思いからみんな真剣にゲームに臨んでいました。その雰囲気が良いときもあれば、悪いときもあります。そのたび皆さんと話をしましたね。今となっては良い思い出です。

出です。

7人で臨む最後の大会となった県総体、松商は強豪校が並ぶ厳しいブロック、組み合わせが決まったその日から僕の頭の中は大会のことについてばかりでした。毎晩毎晩試合の記録を見てはオーダーに悩みました。しかし、それと同時に皆さんとともに過ごした1年間の日々がよみがえってきたのを覚えています。みんな東海大会に行こう、毎日毎日本当に充実した日々でした。だからこそ負けさせたくなかった、ここで終わりたくなかった。僕にできることは、ベンチワークはもちろんです、皆さんの一番の応援者であることです。すべての試合すべてのセット、最後の最後まで誰よりみんなの力を信じよう。

そして大会当日、シード校に打ち勝ち、最後の東海出場校決定戦。始まってみると、ランキング上位の選手と互角以上に渡り合い、最終試合までもつれ込む大激戦。最後まであきらめない、負けず嫌いなチームが底力を見せてくれました。試合をしている選手、ベンチで必死にサポートする選手、みんな本当にたくましく、それが何よりうれしかった。結果は負けてしまいましたが、会場にいた何人もの方から賞賛のお声を

いただきました。

「感動した。松商は最高のチームやな」と。最後に一つだけ、希海さん、千桜さん、和佳菜さん、真琴さん、未来菜さん、美椰さん、蓮菜さん、最高の思い出をありがとうございます。



## 陸上競技部

会員の皆様、陸上競技部の活動にご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。

『前進あるのみ』をスローガンに、目標を達成するために一人一人、何をするべきかを考えながら部員は頑張っています。本年度もコロナ禍により、大会日程の変更や中止を余儀なくされる中、部員は一人ひとりがアスリートとしての生活や行動、そし

て健康管理を行い、来たる日に備え心身の鍛錬を図っています。

多くの方のご尽力により全国大会をはじめ、たくさんの活躍する場を作っていました。その結果、福井インターハイにおいて女子やり投げで山川楓選手が4位、女子400mHで濱千代琳香選手が6位入賞を果たしました。秋の三重県高校新人大会、東海高校新人大会でも多数の入賞者を出し、来年、再来年に向けても充実しています。

これからも部員一同、一歩ずつ可能性に挑戦し続けていきます。今後も宜しくお願ひ申し上げます。



## 文化部

### 簿記部

簿記部は1年生5名、3年生5名の10名で活動しています。主な活動は、日商簿記1級をはじめとする授業だけでは取得

できない高度な簿記検定上級取得と競技大会での上位入賞を目指して毎日取り組んでいます。3年生のみなさんは、コロナ禍により競技大会や検定試験が中止になるという大変なこともありましたが、それぞれの目標に向かって最後まであきらめずに頑張っており組んでくれました。卒業してもそれぞれの道で頑張ってください。応援しています。



### コンピュータ部

松商コンピュータ部は、2年生7名と1年生11名の計18名で活動が続けています。毎日コツコツと努力を続け、力を付けています。

本年度の活動は昨年度と違い、ほとんどの大会が開催され参加することができました。検定試験にもチャレンジし、国家試験である基本情報6名、セキュリティマネジメント2名、応用情報2名が合格しました。

もちろん感染症予防の観点から活動は制限されていて、ストレスのたまることも多かったですが、全員が一年間しっかりと活動を継続できたと思います。

3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。日頃の地味な練習でも集中力を切らさず、しっかりと取り組んでいました。本当にお疲れ様でした。これからもコンピュータ部の活動をしっかりと充実させていきます。3年間ありがとうございました。

※大会活動実績は生徒会誌「松籟」をご覧ください。



### 吹奏楽部

今年度もコロナ禍ということで、施設訪問など出来ませんでした。

反面、活動に意欲的な1年生が入部してくれて、少人数ながら活気のある活動をすることが出来ました。

一月にはアンサンブルコンテスト南地区大会に出場して銅賞を受賞し、二月には

個人重奏コンテスト重奏の部三重県大会にCDに録音した音源を使って出場し、ともに銅賞を受賞しました。

部員が少ないことで、大規模な演奏が出来るにくい状態ですが、来年度新入部員が増えることを願いつつ、来年度も部員が達成感を得られる活動を考えていきたいと思っています。



## ESの部

ESの部は、週に2回、放課後2時間程度の活動をしています。2人の「E」と一緒にその時季に合った英語圏で行われている行事（イースター、ピニャータ、ハロウィン、クリスマス、バレンタイン、タイダイ

等）を自分たちで企画したり、海外のボードゲームやカードゲームをしたり、洋画を鑑賞したりして異文化に触れています。

異文化体験のほか、様々な英語コンテストにも参加しています。主なコンテストは九月に開催される「全商英語スピーチコンテスト三重県大会」のスピーチの部とレシテーション（暗誦）の部、十月に開催される「三重県高等学校英語スピーチ・スキット・英作文コンテスト」・「皇學館大学文学部コミュニケーション学科主催 高校生英語スピーチコンテスト」です。出場する部員は、入賞や全国大会出場をめざし、「E」と仲間とも協力しながら練習を重ね、本番に挑みます。

二〇二一年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、学校でスピーチの練習ができなくなったり、それ以前にコンテスト自体が中止になったりしました。そのような中でも、部員はオンラインでお互いをつなぎスピーチの練習を重ね、録画や録音したスピーチを提出することで参加できるコンテストにも出場しました。コロナ禍で活動が制限されていますが、部員は色々と工夫しながら「英語力のレベルアップ」を目指しています。

今後も様々な国の文化に触れながら、部員それぞれの英語の Reading・Writing・Listening・Speaking の力を伸ばせるような活動を行っていきます。

## ワープロ部



令和三年度のワープロ部は、1年生3人、2年生3人、3年生5人の計11人です。昨年度は中止となっていた三重県高等学校英文ワープロ・ワープロ競技大会が実施された。ワープロの部では、団体で3位、個人で伊豆倉葉奈が4位である。英文ワープロの部では個人で坂口望果が4位である。他にも正確賞と優良賞を受賞した。

同様に昨年とは中止となっていた東海地区高等学校商業実務総合競技大会三重県予選も実施された。ワープロの部では、団体で3位、個人で伊豆倉葉奈が4位である。英文ワープロの部では、団体で3位である。他にも優良賞を受賞した。ワープロの部と英文ワープロの部の両部門で東海大会へ進むことになる。

東海地区高等学校商業実務総合競技大

会は静岡県立浜松商業高等学校で実施された。この大会では、初めてワープロの部で正確賞を伊豆倉葉奈が受賞した。

今年度は、八月中旬から九月末まで新型コロナウイルス蔓延防止のため自宅待機とオンライン学習が実施され、クラブ活動は中止された。東海地区高等学校商業実務総合競技大会三重県予選は九月実施が十月に変更となり練習再開2日後に実施された。東海予選を通過し、静岡県で東海大会は出場した。英文ワープロの部では1年生も選手として出場、初めての東海大会を経験した。現在も新型コロナウイルス対策のため練習時間を短くしている。残された二月の新人大会では来年度に向け良い成績を残せるように頑張りたい。

## 放送部



放送部は、1年生2名、2年生1名、3年生1名で活動しています。今年度は、主な活動として、昼休みの放送と体育祭司会を担当しました。昼休みには、校歌と部員が選んだ曲を流しています。

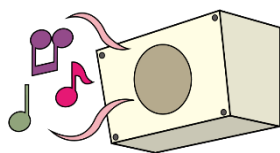


音楽を流す前には、感染症対策を促すアナウンスを入れるようにしました。

放課後の活動では、体育祭の音楽を決めたり、競技で盛り上がるようなアナウンスをするためにはどうしたらよいかなどを話し合ったりしました。

今後も部員一人一人が、状況に応じたアナウンスができるように練習していきたいと思います。

## ギター部



昨年度に引き続き今年度も新型コロナウイルスの感染拡大は収まらず、年度末を迎える現在も様々な場面で活動が制限されている状況です。「これまで通り」が当たり前でなくなり、ギター部として新しい活動の形を模索しつつ活動してきました。今年度の2・3年生は外部で演奏する経験がほとんどないまま進級しました。そんな中、三月に伊勢市の保育園で、六月に松阪市内の小学校で演奏する機会をいただき、少しずつではありますが演奏活動を再開できたのは大変ありがたかったです。経験不足もあり準備に苦心しましたが、部員

たちの思いを込めた演奏ができ、かけがえない経験ができました。四月には1年生が20名以上入部し、七月には無観客ながら2年ぶりに開催された大阪での全国大会に出場して大阪府知事賞を受賞することができました。この流れに乗り、八月末に発表演奏会を開催する予定でしたが、直前に緊急事態宣言が発令されやむなく延期となりました。延期は十二月まで伸び3年生の引退も延長となり、モチベーションの維持が難しい状況でしたが、皆で力を合わせて最後まで走り切ることができました。特に3年生の部員たちは我慢やあきらめなければならぬことはわかりましたが、苦しい中でできることを最後までやりきった彼らの姿は尊く、誇れるものでした。発表演奏会は入場者を制限しての開催でしたが、厳しい状況にも関わらずご来場いただいた皆様にも感謝申し上げます。新型コロナウイルスの影響はこの先も暫く続きそうな状況です。部として目指すべき姿や活動の内容など、守るべき部分と変えていく部分の両立が求められます。日々の活動ができることへの感謝の気持ち、支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れず、あらためて部員・顧問一同精進して

## 商業美術部

主に文化祭での作品展示と、三重県高等学校商業美術コンクール出展に向けての制作活動を行っています。毎週月、金曜日が活動日です。イラストを中心に制作活動をし、定期的に部誌も発刊しています。和気あいあいとアットホームな雰囲気です。



## 茶道部

松阪商業高校茶道部は、3年生4名、1年生3名 計7名の部員が在籍しており、毎週水曜日に、裏千家の准教授である伊藤穂積先生からご指導を受けています。

今年も、昨年度に引き続き「新型コロナウイルス感染」予防のため、今まで通りのお稽古が出来ない状態でした。マスクをしたとが一番の予防になるといこのウイルスは今までの茶道には相容れないものです。今は、感染予防に重点を置き、他人と接触しないことを一番に考えてお稽古の内容を変えながら続けている状態です。

毎年、恒例になっていた文化祭でのお茶会も、昨年度に引き続き中止せざるを得ませんでした。県の行事である「高文祭」での呈茶会や茶道の研修会にも感染予防を第1に考えて、不参加にしました。

茶道部では裏千家茶道のお作法だけではなく、準備や片付け、水屋の仕事を通して気配りや心配りを身に付け、人としての成長に一役買って来たと思っております。

また、文化祭のお茶会では、お稽古してきたお作法を披露するだけでなく、おもて

なしの心を学び、より成長する場にもして  
きました。文化祭後の一つ成長した生徒の  
姿を見るのが毎年の楽しみでした。そのよ  
うな場を持っていないのは残念でたまりませ  
ん。早く、他人との距離やマスクのことを  
考えなくてもよい日が来て、楽しくお稽古  
が出来るようになることを願わずにはい  
られません。



## 珠算・電卓部

珠算電卓部は今年度、1年生2名・2年  
生4名・3年生4名で活動しました。活動  
内容は、珠算電卓検定試験合格および珠算  
電卓競技大会で入賞することを旨として  
練習しています。春の県大会では、珠算読  
上げ暗算で優勝することができました。ま

た、日本商工会議所主催の珠算能力検定で、  
1級満点合格者がでて表彰  
されました。

## 書道部

ご卒業おめでとうございます。

3年生の部員は10名で、どの人も落ち  
着いて粘り強く取り組むことができる人  
達でした。

その甲斐あって、最大の目標である国際  
高校生選抜書展では2名が入賞し、その他  
のコンクールにおいても多数の特別賞を  
受賞することができました。

平日は週2回の活動、夏休みには集中し  
てコンクール作品の製作を行いました。文  
化祭では各自の好きな文字や言葉、詩など  
を選んで書き、個性あふれる作品に仕上げ  
ることができました。作品を鑑賞してい  
ただいた方々からお褒めの言葉をいただ  
き、自信をつけることができました。

黙々と私語をせずに自分の作品と納得  
がいくまで向き合う姿はコロナ禍での活  
動スタイルに合っているようにも思いま  
した。また、文字はその人の心を表すと  
言われるようにその時々の方々の心の変



化が文字に出てくるので、大変興味深く思  
いました。この3年間の書道部での活動を  
通して培った精神や  
技能を今後の生活に  
活かして欲しいと思  
います。



## 同好会

### 華道同好会

華道同好会は、毎週月曜日の放課後に活  
動しています。部員は、1年生2名、2年  
生7名、3年生2名です。

今年度は、昨年度と同様に、文化祭に向  
けて造花を用いてフラワーアレンジメン  
トやリース作りに取り組みました。また、  
今年度の初企画として、生花を用いて盛り  
花にも挑戦しました。文化祭では「個性の  
ある花々」というテーマで作品を展示しま  
した。休校等もあったため、造花の作品は  
夏休み中に各自で制作しました。盛り花は  
グループに分かれて、それぞれ別の花材を  
用いて、個性あふれる4つの作品を生けま  
した。

今後も、季節の花を用いて作品作りがで  
きればと思っています。

### SBP同好会

SBPとは「ソーシャル・ビジネス・プ  
ロジェクト」の略称で、高校生が『まちづ  
くり』や『ビジネス』を提案していくこと  
で地域の活性化に貢献する活動のことで  
す。現在、全国で約80団体がSBP活動に  
取り組んでいます。松商SBP同好会は、  
「つくる、つながる、学ぶ」を活動理念に  
掲げ、令和3年度は15名の生徒で活動し  
ました。

令和3年度は、「松商セレクトギフトの  
リニューアル」、「全国SBP交流フェアの  
参加」、「明野高校・相可高校・松商SBP  
と地元企業によるレトルトカレー商品の  
開発（以下、3校コラボ事業）」、「マックス  
バリュ東海と協同による総菜商品の開発」、  
「マナビバミエ 若き起業家育成事業へ  
の参加」、「松阪市観光協会との観光PR事  
業への参加」をはじめ、様々な事業に取り  
組みました。中でも、三重県高等学校商業  
研究発表大会に出場し、優秀賞（三重県2  
位）に入賞しました。また、3校コラボ事

業では三重県知事訪問を行い、マスコミにも取り上げていただきました。ポータルサイトや動画配信サイトで「松商SBP」と検索していただければ活動の様子がよく分かると思います。ご覧頂ければ幸いです。新型コロナウイルス感染症が収束しない状況下でも、松商SBP同好会は外部諸団体との交流方法を工夫し、地域貢献活動と学校PR活動に努めました。これからの地道に活動していきますので、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

## 人権を考える会

現在のメンバー構成は2・3年生で、毎週木曜日の昼休みに人権室に集まって活動しています。月1回開催される松阪地区人権サークル交流会で他校の生徒と話し合いをしたり、「人権まなびの発表会」への発表をしたり、文化祭での企画および展示をしたりして交流の輪を広げています。今年度は特に、新型コロナウイルスの一日も早い終息を願って千羽鶴をつくったことと、松阪地区中学校人権フェスタで中学生と話し合ったことが印象的です。

これからも人権感覚を豊かにできるよ

うなつながらりを深めていきたいと思えます。



## 「来年度は・・・」

1学年主任 山羽 学

2年前から何度かの波を繰り返して、現在もコロナ禍は続いています。そんな最中の二〇二二年四月、159名の入学生を迎えました。入学以来、1年生の生徒たちは主に以下のような学校生活を送ってきました。

- 四月 熊野古道馬越峠への遠足
- 五月 中間考査、県総体
- 六月 体育祭
- 七月 期末考査、クラスマッチ

九月 自宅学習、オンライン授業

十月 中間考査

十一月 文化祭、百周年記念行事

十二月 期末考査、クラスマッチ

こんなふうに、書き出してみると、9月を除いて、通常の学校生活を送ってきたかのように思えます。確かに、本校は予定していた行事をほぼ行うことができました。しかし、実情は感染対策に細心の注意を払いながら、規模の縮小や内容の変更を行うなどしての実施でした。そんな通常とは異なる状況の中でも、生徒たちがそれぞれの行事を楽しんでくれたことは何よりでした。ただ、残念だったことは、どの行事においても、素顔の生徒を見ることができなかったことです。行事だけでなく、入学以降、普段の学校生活でも彼らの素顔を見ることは、いまだにほとんどありません。今後の感染症の影響を予測するのは難しいですが、来年度には、高校生活最大の行事である修学旅行があります。現2・3年生はともに、コロナ禍の影響を受けて予定を変更せざるを得ませんでした。現1年生については、予定を変更することなく実施したい、そう強く思っています。そして、マスクを外した生徒たち一人一人の笑顔

が少しでもたくさん見ることができるよう、そんな日常になることを願っています。



## 「一年を振り返って」

2学年主任 吉田 克江

もうすぐ2年生が終わろうとしています。四月当初、2年生は学校生活にも慣れ少しゆとりを持って、自分と向き合い、自分を高めることができる学年という話をしました。勉強・クラブ・学校行事を通して、将来や進路について考えることができたでしょうか？

今年もコロナ禍でマスク生活が続く、9月には昨年に引き続き休校措置がとられ、オンライン授業となりました。学校行事も



変更を余儀なくされました。高校生活最大のイベントと言っても過言ではない修学旅行もそうでした。まず、行き先が北海道から四国方面に変更になり、日程も十月から十一月に変更になりました。「安全・安心」して行ける旅行、送り出してもらえ旅行を考え何度も会議を持ち計画・準備をしました。アンケート結果では、ほとんどの生徒が「良かった」と回答しており、安堵するとともに、無事に行けたことに感謝の気持ちで一杯になりました。

十、十一月は文化祭と修学旅行の準備を平行して行なわなければならなかった中で、慌ただしかったです。文化祭の模擬店は昨年引き続き、個包装のものを販売するのみとなってしまいました。各クラスとも全校生徒が楽しめる商品を考え、クラス一人一人が責任を持って役割を果たせるように工夫されていました。また困っている人を支え、助け合う姿も見られ嬉しく思いました。

体育祭やクラスマッチでもたくましくなった姿を見せてもらいました。合格検定に向けても頑張っていました。合格するにこしたことはありませんが、目標に向けてどれだけ一所懸命に取り組んだか

が大切です。学校生活を通して、何事にも一所懸命取り組む姿勢を身につけて欲しいです。

もうすぐ3年生。最終学年です。

松阪商業高等学校の最高学年として後輩達の見本となり、みんなを引っ張り、憧れられる存在になってほしいです。みんな同じでなくて良い、それぞれの良いところを見せてくれれば良いのです。

来年3月1日、胸を張って体育館を歩く姿を楽しみにしています。



### 「激動の3年間」

3学年主任 中島 幸信

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは高校3年間という貴重

な時間を、松商に來なければ出会うことが出来なかった素晴らしい仲間達と過ごせたのではないかと思います。

学年主任を3年間させていただきましたが、入学してから1年生の十二月までは、今までの卒業生のように、学校生活で様々なことを経験して卒業していくのだろうと思っていました。

しかし、新型コロナウイルス感染症という誰も予想していなかった事態で状況は一変しました。1年生の三月から全国一斉に休校が決まり、休校期間は約3ヶ月にも及びました。オンライン授業など今までなかったものが一気に導入されて戸惑ったこともありましたが、何よりも毎日学校へ行つて友達と会って話しをしたり、クラブ活動に取り組んだりするということが出来なくなってしまう、辛かった人も多かったと思います。

そして学校行事も大きな影響を受けました。修学旅行は当初の予定から、実施時期も行き先も変更になりましたが、安全に実施することが出来て良かったと思っています。詳しい経緯は松籟に書きましたので、興味のある方は松籟を読んでください。文化祭では、3年生はクラギ文化ホールで

舞台発表を行うのですが、今年度は新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場のため使用出来ずに学校の体育館で実施し、舞台発表ではなく各クラスで動画を制作し上映しました。はじめての試みでしたが、各クラスともにクオリティの高い作品が完成し、みなさんのスキルの高さにびっくりしました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、常識が大きく変わりました。この先どんなことが起こるかは予測することが誰も出来ませんが、人とのつながりや仲間と共に過ごすことのありがたさを実感できたのではないかと思います。高校時代に出来た友人は生涯の友人になると思います。いつまでも仲間を大切にしてください。みなさんの素晴らしい活躍を本校OBとしても期待しております。



## 卒業生へのメッセージ

### ◎ 3年1組 菊地 なぎさ

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは、コロナ感染拡大の影響を受け日常生活において行動が制限されるなど、我慢を強いられる事が多くありました。また当然学校生活においても大きな影響があり、休校や行事の変更、オンライン授業など慣れない経験をし、戸惑いや不安が多い日々だった事でしょう。ちょうど3年生は2回目の休校が就職試験や推薦入試と重なり担任としても大変心配をしました。しかし皆さんは、いつさい不平不満を言わず黙々とやるべき事をこなしていました。その姿に感心し、松商生の底力を見た気がしました。結果、ほぼ全員が第1希望の進路に進むことができました。

「頑張りすぎずに頑張つて」、そしてあなた方が得た「知性や教養」をもって、世の中のために貢献して欲しいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆様におかれましては、3年間学校活動全般にわたりご理解ご協力頂きましたことに感謝申し上げます。一緒に子育てに関わらせていただき、信頼していただきましたこと改めてお礼申し上げます。これからも生徒達を信じて応援していきたいと思っています。そして3年生の皆さん、大人になった皆さんといつか会える日を楽しみにしています。

### ◎ 3年2組 北村 祐斗

皆さん、ご卒業おめでとうございます。2年生までは、生徒指導部として、最後の一年間は縁があつて担任として関わらせていただきましたが、終わってみればあつという間の1年間でした。進路実現という大事な時期に、しっかりと自分と向き合い進路を決定したり、修学旅行や文化祭などが変更になりましたが、そのなかで協力し合い、楽しんだり、そんな素敵な学年だったなと思います。私自身もみんなに励まされ

て1年間頑張れました。担任としては何も出来ていませんが、感謝しています。ありがとうございます。

今後はそれぞれの進路へ進んでいきますが、つまずいたときや上手くいかないときなどは、高校生活で頑張つた素敵な3年間を思い出したり、頑張つている友人からエネルギーをもらつたりしてもらえたらと思います。そしていろんな縁や出会いを大切にしながら、今後の人生を逞しく、幸福に歩んでいってもらうことを期待しています。



### ◎ 3年3組 今村 智陽

3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。今年度からこの学年でお世話になり、は



じめましての1学期からあつという間の1年間だったように思います。日々、3年生の溢れるパワーをもらいながら仕事が出来たことにとっても感謝しています。2学期はコロナウイルスの影響により、約1ヶ月の分散登校やオンライン授業で学校生活が制限されているにもかかわらず、就職・進学試験に果敢に取り組む3年生の姿は流石でした。文化祭では、初の試みとなる動画製作を限られた準備期間で形にしていくクラスの団結力に感心し、皆さんから卒業後もそれぞれの場所で活躍できると信じています。楽しいことはばかりではなく、つらいことや苦しいこともたくさんあると思いますが、松商で過ごした3年間で思い出して乗り越えていって下さい。ありがとうございました。

◎ 3年4組 川合 正宏

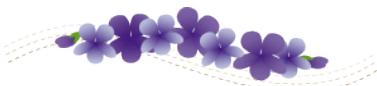
4組の皆さん、ご卒業おめでとうございます。高校卒業は、長い人生の中でも大きな節目のひとつになります。就職・進学を問わず、ここから先は進む道を自身の責任で選択していくこととなります。本当の自立への第一歩です。今後、道に迷ったり方向を間違えることもあるかもしれませんが、時には道を引き返す勇氣、行き先を変更する勇氣も必要です。そんな時にはこれまで学んできたこと、仲間たちとのつながりが道標になってくれることでしょう。皆さんが松商での3年間で努力してきたこと、大切に培ってきたものは、今後の人生を灯台の灯のように照らしてくれます。どうぞ安心して歩き出してください。

保護者の皆様におかれましては、松阪商業高校の教育活動に深いご理解と多大なご協力をいただき誠にありがとうございます。皆様にお力添えをいただき、ここまで来ることができました。心より感謝を申し上げます。今後、お子様方が幸多い人生を歩まれることをお祈り申し上げますとともに、皆様のますますのご健康、ご発展をお祈り申し上げます。

◎ 3年5組 長谷川 由紀

生徒の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆さん、学級活動にご理解をいただきまして、ありがとうございます。皆さんが入学された年に私も本校に転勤して来ました。1年次はビジネス科、2年次からは国際教養科の担任でしたが、同じ学年を持ち上がったのは教員生活の中でも、たったの3回ということもあり、感慨深いものがあります。卒業生を送り出した後、何度も、何度も、母校を訪ねてくれる子もいれば、一度も母校に顔を出してくれない子もいます。しかし、後者に限って、ようやく先生に会う自信がついたからと忘れた頃に連絡をくれたりします。突然でも、サプライズは嬉しいものです。これから先、皆さんが自分で選んだ道を進んで行く中で、立ち止まったり、振り返ったりしたくなった時は、ふらっと母校へ遊びにおいで！皆さんが来るのを待っています。

声が大きい応援団長



◎ 3年6組 山川 徹

3年生のみなさん、保護者のみなさん、ご卒業おめでとうございます。3年間という、長いようでいて、あっという間に経過していった高校時代を終え、四月から新しい生活が待っています。卒業生のみなさんの人生が素晴らしいものになることを祈っています。

四月から、卒業生のみなさんは新成人となり、大人の仲間入りをします。大人として認められると同時に、成人としての行動し、ふるまうことが期待されます。成長のスピードは人それぞれ違いますから、焦ることなく、しかし自覚をもって成長していただく。保護者のみなさま、お子様を十八年間養育していただき、このたび卒業式を迎えることとなりました。誠にありがとうございます。

ご家庭での愛情のこもったご指導はもちろんです。学校教育へのご理解、ご協力を賜り、素晴らしい生徒に成長いたしました。重ねてお礼を申し上げます。さて、卒業生のみなさんは、今後も松阪商業高校の卒業生であることを誇りに思い、

様々な方面で活躍していただく。



卒業生の進路状況 進路指導部

進路指導主事 奥田 肇

令和三年度の進路希望の割合は例年とほぼ同じで、就職希望者が約4割、進学希望者が約6割でした。

学校幹旋を希望した生徒の就職内定率は、一月末現在で100%となりました。コロナ対策のため経済活動が影響を受けたにもかかわらず、求人企業数は昨年度と同程度で、地域の産業界に感謝しております。また、企業の採用担当者から「松商の生徒なら大丈夫」という高い評価をいただいております。本校に対して労働条件の良い求人をお探しいただきました。伝統ある松



商の歴史と卒業生の頑張りが「松商ブランド」を築き上げ、そのブランド力が地域に根付いているおかげだと改めて感謝しています。多くの企業では、協調性やコミュニケーション能力・身だしなみを、求める人材の素養としてあげています。こうした素養の多くは、日常生活の中で身に付くものですから、校内でも生徒との会話・挨拶を大切にし、礼儀やマナー・頭髪服装等についてきめ細やかに指導しています。授業

を大切にし、部活動や学校行事を一生懸命行う雰囲気づくりが、松商の強みとなっています。来年度以降も生徒の進路希望を実現するため、企業の採用担当者との連絡を密にし、求人開拓や情報収集に努めます。

また、進学に関しては総合選抜(旧AO入試)や、学校推薦型選抜(指定校推薦を含む推薦入試)を活用し、多くの生徒が進学先を決定しています。進学希望者のおよそ半分が四大・短大に進学し、およそ半分が専門学校等に進学します。在学中に取得した資格などを積極的に評価してもらえる選抜方法も多く、様々な入試形態を活用できるような資格の取得指導や情報提供に努めます。進学するということは高校の学習を終えた後も、一定期間上級学校で学

んでいくこととなります。合格・入学することを目的とせず、今後学習していくための基礎学力をしっかりとし身につけておく必要があります。1年次から目標を明確にし、受験対策に取り組む必要があります。大学入試改革が始まり、受験制度が不安定な状況ですが、情報収集に努め生徒が安心して受験できるよう進路指導体制を整えていきます。

さらに、公務員希望者も全員希望を叶えてくれました。一般行政職や警察官、自衛官など1年次から目標を定め、こつこつと学習を積み重ねてきた結果の賜物でした。地域に貢献したいという強い思いが、毎日の学習を継続させる原点でした。今後も専門学校の講師による公務員講座を開催し、公務員受験対策を充実させていきます。

最後になりますが、企業から内定をいただくことや、上級学校に合格することがゴールではありません。卒業後、生徒たちが幸せな人生を歩んでいくことができるように、計画的なキャリア教育と進路指導を行ってまいります。今後とも保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひします。



## 編集後記

令和3年度のPTA活動は昨年度同様、新型コロナウイルス感染症により、大きく制限されることとなりました。PTA総会については集会形式での開催は中止し、書面議決にて実施しました。体育祭、文化祭については保護者や来賓の皆様のご観覧を中止し、できる限りの感染対策をした上で実施となりました。昨年は取り止めとなったVIVA松商(生徒会執行部が学校生活全般にわたる要望や意見を直接PTA本部役員に伝える場)については、七月に実施し、生徒会から体育祭における日差し対策等の要望がなされ、本部役員との間で協議が行われました。その他にPTA役員会を4回、合同交通安全指導を3回行いました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大のため延期しておりました創立百周年記念式典が、十一月本校体育館にて挙行されました。同窓会が記念事業として執り行った正門エントランス改修の紹介をふくめ、百年の軌跡をたどる記念映像上映とともに、1時間程度の式典を実施することができました。

新型コロナウイルス感染症オミクロン

株の対応についても先を見通せない状況ですが、令和4年度のPTA活動についても、可能な範囲で工夫して行っていきたいと考えています。本年度同様にPTA活動にご理解・ご支援のほどよろしくお願ひいたします。

なお、PTA通信については、入学定員減に伴うPTA予算の規模縮小により、印刷・編集を業者に委託せず校内で編集し、学校ホームページの「在校生・保護者の方専用ページ」にPDF版を掲載させていただきます。

## 編集者

辻 未輝	平谷 知佐
小西伊津美	古儀 綾子
濱口 洋美	山口 昌代
松浦 有沙	藤田 真弓
世古 佳子	

